

活動報告 2025

パレスチナ赤新月社・日本赤十字社

医療支援事業（レバノン支部事業）

支援の背景

レバノンにはパレスチナ難民が多く居住する12の難民キャンプがあります。レバノン国内でパレスチナ難民に対する活動をしているのがパレスチナ赤新月社（パレスチナ赤）レバノン支部です。日本赤十字社（日赤）は2018年4月からパレスチナ赤がレバノン国内で運営する5つの病院への医療技術支援を開始しました。途中、新型コロナウイルスの世界的な蔓延等による計画変更を余儀なくされましたが、オンライン会議を活用してリモートでの支援を継続。1年の暫定支援期間を経て、2022年4月からは第二期医療支援事業を開始し、要員派遣も再開しました。2023年10月以降の中東地域情勢の変化により、要員派遣の中断を再び余儀なくされたため、2024年7月からは、現地大学と協力し、医師向け・看護師向けの研修を実施し、現地の医療の質の向上に取り組んでいます。現場での指導を求める声に応えるために、安全状況を見極めながら、2025年は日赤の医師2名をスポット的にレバノンに派遣し、実践のフォローアップを行いました。

1. 日赤医師を派遣してのエコー検査の実施指導



2025年は2名の日赤医師が、現地の医師と肩を並べながら超音波（エコー）検査の実地指導を行いました。現地の医師からは「日赤の医師と一緒に診療を行ったことで、自分にも出来るという自信がついた」という声が聞かれました。

2. 大学による技術向上研修



救急対応能力強化を目的とした研修の様子。判断力とチーム連携の強化を重視する内容で、緊急対応の手順を確認しながら進められました。参加者の理解を促せるよう、シミュレーションによる反復訓練が行われました。

■ 日赤の中東人道危機救援事業 ■



日赤の中東地域での活動実績はWEBからもご覧頂けます。
～皆さまの温かいご支援をよろしくお願いたします～

問い合わせ先

電話番号：03-3437-7088

メール：kokusai-kyuen@jrc.or.jp

担当：国際救援課 事業係 中東担当

